

一般質問通告表

令和4年第2回始良市議会定例会（7月6日）

11. 小田原 優	1. 公文書等の管理について	<p>(1) 始良市における公文書及び公用文書に対する考え方について</p> <p>公文書において公務員が執務に関し作成した文書等は公文書と呼ばれるが、私文書を含む広義での公用文書や行政文書など関連法によりその取扱いにより分類される。</p> <p>本市の公文書及び公用文書に対する考え方と保管保存管理、そして破棄までの取り扱いについて問う。</p> <p>(2) 市文書取扱規程と「公文書等の管理に関する法」との整合性について</p> <p>公文書は、原則、総て開示であると考えている。市においても文書取扱規程を遵守されているものと思うが、「公文書等の管理に関する法」（以後、「文書管理法」とする。）との整合性についてはどう考えるか。</p> <p>(3) 文書管理システムの運用状況について</p> <p>国が文書管理業務の業務・システム最適化計画の中で、電子決裁まで含む文書管理に触れている。</p> <p>本市においても文書管理システムが適切に稼働していると思うが、職員がその職務に関し、必要とする公文書を検索するに、どの程度の時間単位で、保管保存場所を特定し必要とする職員の手元に届くか。</p>	市長 教育長
-----------	----------------	---	-----------

(4) 公共事業に係る公文書管理の範囲と遵守状況について

公文書や保有個人情報の開示請求を行った結果、本来、保管・保存されるべき公文書が、「存在しない。」等の理由で一部・不開示通知処理されている。

開示申請を受理してから15日以内には開示決定されるようになっているが、中には該当する文書が見つからず日延べを申し出てくる事案も多々ある。

これらは公文書の適切な仕分けと保管・保存管理が為されていない証左であり、他には事務手続きシステムそのものに問題があるものと思料される。「文書管理法」のガイドラインで示しているとおり、個人の権利の得喪や組織の意思決定に至る協議内容を示す記録等も公文書に含まれるものとされ、当然に公共事業に関する諸手続きに係る文書等もその保管・保存管理が定められている。

一つの例として、入札等に係る事務手続きで指名推薦があるが、所管課で定めた審査基準に基づいて推薦された中から指名委員会において指名推薦業者が決定し、当該業者間で入札が行われるものと理解している。

つまり落札までの一連の流れを示す執行伺いや入札に関する稟議書などは、公正公平な入札を維持するための重要な公文書である。

しかし保存期間中であるにもかかわらず、存在しない旨の不開示決定がなされている事例もある。

このことについてどう考えるか。

(5) 公文書管理状況が公共事業に与える関係性について

平成30年1月27日午後11時頃、あいら斎場の炉前ホールの高さ12メートルにある天井から、1枚の重さが数キロもある大型タイル（縦30センチ横60センチ）が8枚も落下した事故があった。

この件について公文書開示請求を行い調査した結果、まず建築設計業務委託業者の選定にあたって適切に事務手続きが行われていなかったと思料される内容が記されている。

指名業者を決定する複数項目設けている審査基準書（施工監理業務の実績）等が存在するはずが、開示請求では存在しない旨の回答であった。

さらに調査していくと、県内8業者が指名推薦されていた最初の執行伺いが理由無く破棄され、前執行伺いでは候補に挙がっていなかった殆ど県外の業者7社が指名推薦された経緯が明らかになっている。

この人命にも影響する事故は、公文書に対する市の杜撰な考え方が招いたものとする。

市長の就任前の事故であるが、今の始良市長としてはどう考えるか。

(6) 公文書作成等の電子化と公的署名を活用した保存管理の検討について

公用文書の破棄や改ざんについては刑法でも厳しい罰則があるようにその管理は厳正なものであるべきものである。

消えた年金記録問題を発端とした「公文書管理法」が定められたが、

		<p>国が出したガイドラインでは細かく公文書等の取扱いについて定められており、市役所内における公文書の管理に関して参考になるものである。</p> <p>施政方針に中で市長は電子決裁やデジタル化推進に取り組む姿勢を表明された。</p> <p>恐らくは将来発生することの重要性にいち早く気付かれ、施策を講じたものと私は思うが、この先、保管・保存管理する公文書は膨大な量になっていくことが明らかであるが、特に現在の保存文書に加えて、毎年発生する永久保存の公文書の存在がある。</p> <p>現在の紙ベースでの公文書保管には限界があるのではないかと思うがどう考えるか。</p> <p>(7)新たな公文書作成は永久に続くが、この先間違って公文書の破棄や改ざんが行われないよう、最終的に起案決裁済の時点で各公文書類は、担当職員が将来に亘って責任を負うよう、公的認証制度を使った署名入りの電磁式記録のファイルとし、改ざん・破棄が生じないような保存を検討してみてもどうか。</p>	
12. 益森 隆史	1. ふるさと納税への取組について	<p>(1) 市の大切な収入源として、ふるさと納税があげられる。始良市ふるさと納税での納税額は年々向上していると認識しているが、これまでの推移を問う。</p> <p>(2) 前年度までのふるさと納税について、返礼品事業者に対してどのような取組を行ってきたのかを問う。</p>	市 長

	<p>2. WEBを活用した市民向け広報について</p>	<p>(3) 令和4年度のふるさと納税について、目標金額をいくらと定め、またその目標達成のためにどのような施策を行うのか。</p> <p>(1) 始良市は子育て世代の移住者が多い。小中学校区の割り振りについて市のホームページでは自治会名で記載しており、インターネットでその自治会名を検索しても住所がどこの自治会にあたるのか分からない。なぜ地図表記にしないのか理由を問う</p> <p>(2) これから災害が多発する季節を迎える。災害時の避難場所や指定避難所の場所や施設を、より多くの市民に把握してもらう必要があると考える。今年2月にハザードマップがリニューアルされWEBから確認できるようになった。しかし同じく緊急時に必要となるAEDについては、別のサイトから設置個所を確認しなければならない。そのため始良市のホームページは非常に分かりにくい構成となっている。これらをわかりやすくまとめる必要があると考えるが、市の見解を問う。</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>13. 谷口 義文</p>	<p>1. 選挙結果について</p>	<p>去る4月17日に投開票が行われた始良市長選挙・市議会議員選挙は、投票率54.53%で前回は5.39ポイント下回った。この要因は何か、今後の課題は何か。また、選挙の在り方について選挙管理委員会の権限を示せ。</p>	<p>市長 選挙管理委員会委員長</p>

	2. 市政運営について	<p>(1) 市長選挙において前回（平成30年4月22日執行）の選挙より市長の得票数が1,900票ほど減少している。</p> <p>4年間の経験と実績がどう評価されたのか、結果をどう捉え市政に活かしていくのか見解を問う。</p> <p>(2) 市長選公報において「高等教育機関の設置をさらに加速します。」とあるが加速して果たして開学は進むのか。</p> <p>(3) 市のあらゆる事業の予算執行（業者選定や入札等）においては常に公正・公平を旨とし、差別があってはならない。見解を問う。</p> <p>(4) 車借上げ料について、5月18日付建設新聞の入札結果で市長車両リース契約（長期継続契約）月額5万7,600円、トヨタレンタリース鹿児島と報じている。この詳細を問う。</p> <p>(5) 市長は新人議員数名を個別に呼んで面接したと聞いている。果たしてその目的は。</p> <p>(6) 「始良市長が大人数会食」と新聞報道されたが、令和4年第2回始良市議会定例会の場で、しっかり説明責任を果たすべきでないか。</p>	市長
14. 馬場 修二	1. 市長から見る始良市について	<p>市長は、再選を果たされ、志新たに施政方針を述べられたと思う。施政方針の冒頭で「未熟な部分」が残っているとされた。これは以前から言われていたことと記憶している。外から始良市を見て感じ、さらに始良市のリーダーとして4年間の舵取りをした中に感じての事と想像する。さらに、住みこちランキング総合1位を今後も死守するための施政方針と受け止める。まちづくりは、</p>	市長

	<p>2. 高等教育機関設置について</p>	<p>行政、職員、議会だけで行うものではなく、広く市民の協力を得て行っていくものとする。</p> <p>そこで以下について問う。</p> <p>(1) 早急に取り組んでいかなければならない未熟な部分とは何か。</p> <p>(2) ハード面のみならず、ソフト面などで市民へ大きく協力を求める事はなにか。</p> <p>高等教育機関の創設は、重点プロジェクトの1番目にあげている。また、市長1期目からの公約であり注目度も高いが、市民の期待度は少しずつ低下もみられるのも事実である。また設置に際してはまちづくりにも大きな影響を与えると考える。</p> <p>そこで以下について問う。</p> <p>(1) 公約達成まで、どれぐらいの期間を考えているのか。</p> <p>(2) 令和3年度実施した意向調査に関して、委託業者の選定はどのように行ったのか。</p> <p>また、意向調査結果は十分であったか。</p> <p>(3) 設置方向の1つとして、高校と連携した学園構想などは検討しないか。</p>	<p>市 長</p>
<p>15. 宇都 陽一郎</p>	<p>1. 本市におけるこれからの青少年育成について</p>	<p>「始良市の未来の宝である子どもたち」と今回の施政方針でも表現している。また、今の子どもたちを地域一丸となって育むことが「30年後も発展し続けている始良市」であると思う。そこで、まだまだ青少年人口が増加し続ける本市で、どのような青少年育成を目指しているか問う。</p>	<p>市 長 教育長</p>

	<p>2. 本市における青少年活動について</p>	<p>(1) 始良市青年団の解散について、ピーク時の人数や活動内容及び解散に至るまでの経緯を問う。</p> <p>(2) 「二十歳の集い式」実行委員会について、実行委員の募集状況や式典内容を問う。</p> <p>(3) 本市における青少年団体の現況を問う。また、本市としてのこれからのビジョンを問う。</p>	<p>市長 教育長</p>
--	---------------------------	--	-------------------